

2024年7月8日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【エンジニアリング業】他社牽制力ランキング 2023

トップ3はJFEエンジニアリング、栗田工業、オルガノ

弊社はこのほど「エンジニアリング業業界」の特許を対象に、2023年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「エンジニアリング業業界 他社牽制力ランキング 2023」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2023年に最も引用された企業は、1位 JFEエンジニアリング、2位 栗田工業、3位 オルガノとなりました。

【エンジニアリング業業界 他社牽制力ランキング 2023 上位10社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	JFEエンジニアリング	245
2位	栗田工業	234
3位	オルガノ	118
4位	日立パワーソリューションズ	94
5位	東芝プラントシステム	87
5位	東レエンジニアリング	87
7位	日鉄エンジニアリング	74
8位	メタウォーター	73
9位	三菱電機エンジニアリング	62
10位	神鋼環境ソリューション	58

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2023年12月までに公開された全特許のうち、2023年1月～12月末の期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を対象に、抽出・集計を行っています。

また本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2024年5月時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお各企業の業種につきましては、総務省の日本標準産業分類等を参考に分類しています。

1位 **JFEエンジニアリング**の最も引用された特許は「コンクリート構造物の検査方法」に関する技術で、ペガソス・エレクトラや富士フィルムなどの計5件の審査過程で引用されています。このほかには「荷役機械の操作支援方法」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、住友重機械建機クレーンなどの計3件の拒絶理由として引用されています。

2023年に、JFEエンジニアリングの特許によって影響を受けた件数が最も多い企業はJFEスチール（14件）、次いで日本製鉄（11件）となっています。

2位 **栗田工業**の最も引用された特許は「飲料水の充填装置」に関する技術で、大日本印刷の計4件の審査過程で引用されています。このほか「汚泥界面計測装置」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、オルガノなどの計3件の拒絶理由として引用されています。

2023年に、栗田工業の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業はオルガノ（22件）、次いで水 i n g（8件）です。

3位 **オルガノ**の最も引用された特許は「微量成分を含む試料液を所定濃度まで加熱濃縮する装置」に関する技術で、日立ハイテクや住化分析センターなど計3件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2023年に、オルガノの特許により影響を受けた件数が最も多い企業は栗田工業（18件）、次いで住友重機械エンバイロメント（5件）となっています。

4位 **日立パワーソリューションズ**は「機械設備監視用の異常予兆検知システム」、5位 **東芝プラントシステム**は「施設内災害時の避難誘導システム」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【エンジニアリング業業界 他社牽制カランキング 2023 データ】

▶納品形態：以下のデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品※

（※データー式を収録した CD-R での御納品をご希望の場合はご相談ください）

- ・ランキング トップ 30 社：本業界の被引用件数上位 30 社のランキング
- ・被引用件数 トップ 100 件：本業界の被引用件数上位 100 特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000 円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL : <https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail : info@patentresult.co.jp